

子ども期の体験と健康に関する調査へのご協力をお願い

研究代表者：白百合女子大学 教授・お茶の水女子大学 名誉教授 菅原ますみ
大分大学大学院 福祉健康科学研究科 教授 相澤 仁

拝啓 皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私たちの研究グループでは、日本学術振興会 科学研究費補助事業研究（「養育環境リスク要因の累積が人間発達に及ぼす長期的影響性と影響防御機序の解明」）として、子ども期の体験が、その後の発達や成長、健康に及ぼす影響について追跡調査を実施し、長期間にわたって研究を行っております。この研究を通して、子どもたちをとりまく環境や日々の体験が、子どもの成長や発達、成人後の心身の健康に及ぼす影響を明らかにし、子どもたちが安心して、健やかに育っていけるような社会環境を創っていくための基礎的な情報を提供させていただきたいと考えております。

この研究の一環として、里親家庭（特別養子縁組を含みます）で生活をされているお子さんが幼い頃に体験されたできごとや、現在の心身の健康のごようすについてお伺いしたく、調査を企画いたしました。この調査の結果をもとに、お子さんの幼少期での体験が心身の健康や発達におよぼす影響が、その後の児童期・思春期でのさまざまな人間関係や体験によってどのように変わるのかを検討し、健康な人生を送るために必要な子ども期の体験について明らかにすることを目標としています。

今回の調査では、里親家庭で生活されている高校生相当の年齢以上のお子さん（里子さん・養子さん、また実子さんもご協力いただけます場合にはご記入をお願い申し上げます。すべて同じ内容でございます。）と里親様に、アンケート調査へのご協力をお願いしたいと考えております。お子さんご自身に記入していただきたいアンケートでは、現在の人間関係やふだんの活動や生活のごようすなどについてお聞きします。里親様には、お子さんのこれまでの体験や、現在のご家庭でのごようすなどについてお伺いする予定です。

ご協力いただけます場合には、こちらの「[調査へのご登録フォーム](#)」から、調査票のお送り先、ご協力いただける方の人数をご記入いただき、ご送信くださいますよう、お願い申し上げます。

また、本研究は、「生涯にわたる心身の健康のために大切となる子ども期の体験」を長期的な視点から明らかにすることを目標としていることから、高校生相当の年齢以上のお子さんに、今回の初回アンケートのなかで調査へのご参加をご依頼させていただき、応諾していただいた方々のメールアドレスをお伺いしたうえで、次年度以降 5 年間にわたる年 1 回のオンライン調査の実施を計画しております。オンラインでのフォローアップ調査では、その時々での心身の健康や就学・就労状況、対人関係のご様子などについてお伺いする予定です。

以上の調査はすべて無記名で実施し、個人情報特定される心配はございません。お忙しいところ、恐縮でございますが、研究の主旨をご理解のうえ、アンケート調査にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。なお、本調査の実施につきましては、先般、オンライン里親会の会長様ならびに役員の皆様方にお諮りいただき、ご了承をいただいております。

本調査についてご不明な点などがございましたら、下記メールアドレスまでお問い合わせくださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

（調査事務担当：お茶の水女子大学 人間発達教育科学研究所 松本聡子）

連絡先：info.chousa@gmail.com



記

1. 研究課題名:子ども期の体験と健康に関する調査

2. 調査研究の目的・意義

本調査研究は、里親家庭で生活されている高校生相当の年齢以上の青少年の皆様および里親の方々を対象に、対象の青少年の幼少期の体験と現在なさっている様々な活動や対人関係のご様子、また自尊感情や精神的健康、学校適応についてお尋ねする質問紙調査です。収集されたデータから、青少年の幼少期の体験が青年期から成人前期での精神的健康や社会的適応に及ぼす影響性に対して、どのような保護的・補償的体験が緩和効果を有するのか検討し、逆境的な幼少期を体験した青少年の健康的な適応を目指す指導・支援に資する知見を得ることを目的としています。本調査は、里親家庭で生活されていらっしゃる高校生相当の年齢以上のお子さんを対象とした1時点の横断調査と、次年度以降に実施予定のオンラインでのフォローアップ調査に承諾していただいた方々に対してご成人後（18歳以降）、5年間にわたって実施する縦断調査で構成されています。今年度の初回調査では、里親家庭で生活されている高校生相当の年齢以上の皆様への現在の生活に関するアンケートと、里親様にお子さんの幼少期体験および現在の健康状態や適応のご様子についてアンケートにてお伺いさせていただきます。次年度以降のフォローアップ調査については、高校生相当の年齢のお子さんについて、初回アンケートのなかで調査へのご参加をご依頼させていただき、承諾していただいた方々のメールアドレスをお伺いしたうえで、次年度以降5年間にわたる年1回のオンライン調査を実施します。オンラインでのフォローアップ調査では、その時々での心身の健康や就学・就労状況、対人関係のご様子などについてお伺いする予定です。

3. 調査をお願いしたい方と手順

1) ご協力をお願いしたい方

里親家庭で生活をされている高校生相当の年齢以上のお子さん（里子・養子・実子を問いません）と里親様

2) 実施方法

調査に承諾いただいたご家庭に、調査票（青少年用・里親用）と返信用の封筒をお送りします。各自ご回答いただき、記入済みの調査票を各自返信用の封筒に入れ封し、投函していただきます。

3) 実施期間

調査にご協力いただける旨のご連絡を頂戴した後、返信用はがきにてご指示いただいた人数分の調査票をお送りいたします。調査票は、おおよそ2週間程度でご返送いただければと希望しております。

4) 調査実施に係る事項

調査にご協力くださる方に対するインフォームド・コンセントは、研究への協力はご自身の自由意志によるものであること、調査に協力しないことによる不利益はないこと、回答を途中で放棄してもよいこと、プライバシーは保護されること、などの説明を、調査票と併せて文面によっておこないます。調査協力を同意をしていただける場合には、調査票への記入をお願いします。

4. 研究における倫理的配慮

本研究は、国立大学法人お茶の水女子大学倫理審査委員会（人文社会科学研究）の承認（承認番号：2022-67）を得ています。

- 調査によって得られたデータは、すべてプライバシーマークを取得している調査会社で入力し、研究者は、完全に匿名化・電子化されたものを分析に使用します。データから個人が特定されることはありません。また、本研究以外の目的で、当該データを使用することはありません。
- 回収した調査票は共同研究者の研究室にて鍵のかかるキャビネットにて保管・管理し、研究成果の発表時点から10年経過後、速やかに裁断・焼却処分を行います。

5. 研究成果の公表、還元

本調査から得られたデータは、学術研究に用い、学会発表・論文執筆とともに、分析結果を里親会様などを通じてご報告させていただくことを予定しております。

6. 研究に関するお問い合わせ先

本調査についてご不明な点などがございましたら、下記までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

研究代表者： 白百合女子大学教授・お茶の水女子大学名誉教授 菅原ますみ
大分大学大学院 福祉健康科学研究科 教授 相澤 仁

連絡先（事務担当）：お茶の水女子大学 人間発達教育科学研究所

特任アソシエイトフェロー 松本聡子

info.chousa@gmail.com

調査にご協力いただけます場合には、こちらの「[調査へのご登録フォーム](#)」から、調査票のお送り先、ご協力いただける方の人数をご記入いただき、ご送信くださいますよう、お願い申し上げます。